

FTP Exchange

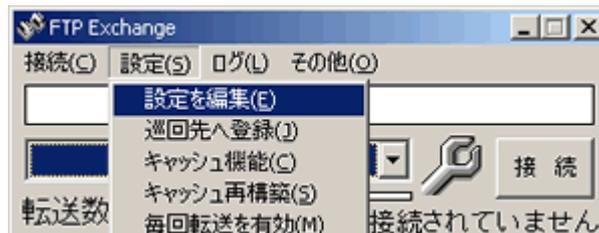
FTP Exchange は、鈴木 聖史氏によるフリー FTP ソフトです。お客様が作成されたホームページ用コンテンツを CODA ネットワークセンターの WWW サーバに転送される場合に問題なく使用することができます。更新したファイルだけを自動転送する機能を持ち、ホームページの更新などには非常に役に立つソフトです。

FTP Exchange は、インターネット関連雑誌の付録 CD-ROM や、鈴木 聖史氏のホームページ (<http://www.toyota.ne.jp/~kawauso/index.html>) から入手することができます。

以下に FTP Exchange を CODA ネットワークセンターで使用するための設定について簡単に説明します。FTP Exchange をより便利に使用するための設定に関しては、FTP Exchange 付属のドキュメントまたは、鈴木 聖史氏のホームページ (<http://www.toyota.ne.jp/~kawauso/index.html>) をご参照ください。

設定方法

- (1) FTP Exchange を起動し、メニューバーの【設定(S)】をクリックし、【設定を編集(E)】を選択します。



- (2) 接続するサーバの設定を行います。以下の項目に記入し、【保存】ボタンをクリックします。

ホスト名

お客様のお名前 (会社名等) など、お好きな名前をつけてください。

FTP Server

ホームページを置く WWW サーバ名を入力します。
サーバ名は別紙「[ホストアドレス一覧](#)」をご覧ください。

アカウント

コンテンツの転送ホストに接続するためのユーザ ID を入力します。

ホスティングサービスのお客様

別紙「[CODA ホスティングサービス設定完了のお知らせ](#)」に記載しております、
「FTP 用アカウント」を入力してください。

ダイヤルアップ IP 接続サービスのお客様

別紙「[CODA インターネット接続サービスユーザ登録完了のお知らせ](#)」に記載
しております、「CODA アカウントのアカウント名」を入力してください。

FTP Exchange

パスワード

コンテンツの転送ホストに接続するためのパスワードを入力します。

ホスティングサービスのお客様

別紙「CODA ホスティングサービス設定完了のお知らせ」に記載しております、
「FTP 用パスワード」を入力してください。

ダイヤルアップ IP 接続サービスのお客様

別紙「CODA インターネット接続サービスユーザ登録完了のお知らせ」に記載
しております、「CODA アカウントのパスワード」を入力してください。

ローカルパス

お客様側コンピュータのハードディスクにホームページ作成用専用フォルダを作成され、その中にお客様のホームページ用コンテンツを作成されていると思います。ここには、そのフォルダ名を入力してください。

サーバーパス

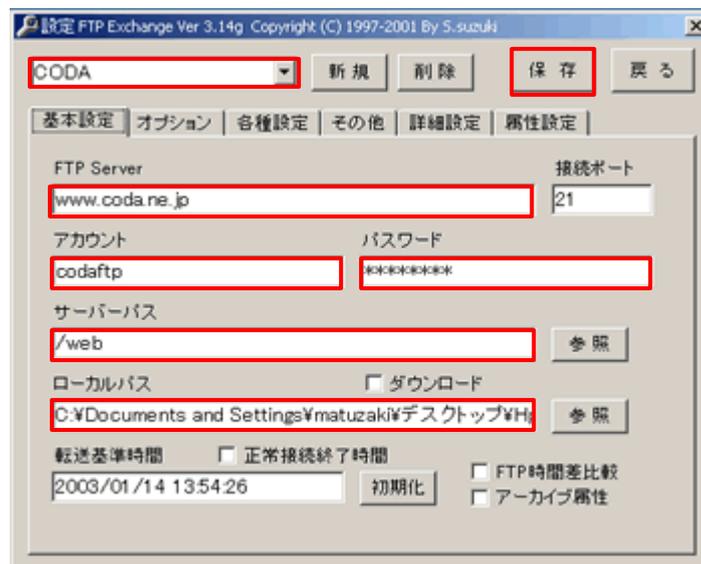
コンテンツを置くサーバ側のディレクトリ(フォルダ)です。

ホスティングサービスのお客様

「/web」と入力してください。(ホスティングサービスのご契約が2001年6月以前のお客様は、「public_html」と入力してください。)

ダイヤルアップ IP 接続サービスのお客様

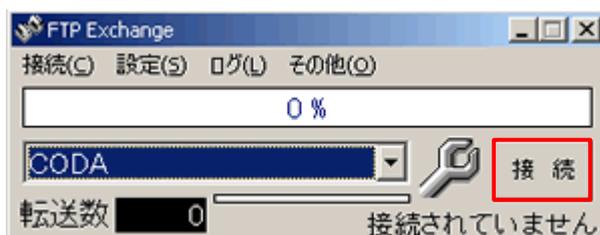
「public_html」と入力してください。



FTP Exchange

サーバへの接続/転送

- (1) 設定が完了すると、設定した「ホスト情報」がホスト一覧に含まれていますので、選択して【接続】ボタンをクリックしてください。



- (2) 【接続】ボタンをクリックすると、自動的にファイルの転送が開始されます。この際、更新されたファイルのみが転送されます。



サーバからの切断

メニューバーの【接続 (C)】をクリックし、【切断 (S)】を選択します。



サーバへの接続がうまく行えない場合があります。その場合には、「PASV モード」を有効にしてください。

メニューバー 設定 (S)-設定を編集 (E) を選択します。[設定]ダイアログが表示されたら、詳細設定 タブを選択し、【 PASV モードで接続】欄にチェックを入れて【保存】ボタンをクリックします。

*PASV モードとは？

幾つかのファイアウォールシステムでは、ファイアウォールがシステムに侵入してくる、外向き・内向きの接続を防ぐ場合があります。FTP を使用して外に出るためには、クライアントは接続のエリアを作成しなければなりません。このためのメカニズムを Passive モードといいます。